

どっ きょう 獨協中学校・高等学校

〒112-0014 東京都文京区関口3-8-1 ☎03-3943-3651 学校長 上田 善彦



〈URL〉 <https://www.dokkyo.ed.jp/>

沿革 明治16年(1883)、獨逸学協会学校創設。同26年(1893)普通科を獨逸学協会中学校と改称。昭和23年(1948)、獨協中学校・高等学校と改称。

校風・教育方針

初代校長西周が示した「百学連環」の教えを原点に、第13代校長天野貞祐が掲げた「学問を通じての人間形成」という教育目標を実現すべく、幅広く様々なことを学ぶことを通じて、理性を磨き、教養と豊かな感性を身につけることで品格ある人物の育成をめざしています。そうした「人間教育」こそが、獨協教育の原点です。

カリキュラムの特色

6年間を3つのブロックに分け、各成長段階に応じたカリキュラムを編成しています。

第1ブロック(中1・2)ではとくに積み重ねや運用力が求められる英語・数学に十分な時間(英語6、数学5~6)を確保。「考える力」、「発想する力」をしっかり育むとともに、英語ではうち2時間を活動の時間に当て、英語を体に染みこませることをめざしています。また『獨協手帳』による日々の振り返りや時間感覚の養成、小テストやノートチェックによる確認など、学習習慣を身に付けるための工夫がなされ、学力を育みます。

学力伸長期である第2ブロック(中3・高1)からは英・数で習熟度別授業が始まり、高1からは選抜クラスが作られます。それぞれの理解度にあった授業が展開され、進度上の違いはなく、授業の深さや演習量に差があります。英数の先取り

今春の進学実績については巻末の「高校別大学合格者数一覧」をご覧ください



以外に、長期休暇中の講習、1年間かける研究論文等、考える力が伸びていくこの時期にふさわしいカリキュラムとなっています。

4年間かけて形成されてきた学習習慣や考える力を完成させる第3ブロック(高2・3)では、難関大学進学を可能とするカリキュラム構成になっています。高3ではゆるやかなコース制の中で、一人ひとりの進路選択を支えています。

学園創立の原点であるドイツとの関係においては、ドイツ政府が推進する「学校—未来をひらくパートナー(PASCH)」の、日本で6校のみの提携校の一つとしてドイツ語教育の振興に取り組むとともに、2つのギムナジウムとパートナー協定を結び、教育連携をすすめています。

環境・施設設備

都内を一望のもとに見下ろす目白台にあり、青々とした樹木に包まれた理想的な教育環境の中にあります。

白亜の校舎には、充実した設備の理科実験教室、採光を存分に採り入れた普通教室などが整備されています。中でも、総合情報センターとしてマルチメディアに対応した図書館は8万冊の蔵書数を誇るほか、6つのモニターと可動式デスク44台を備えたTECLabが併設され、生徒の豊かな学びを支えています。ほかにも、生徒ホールや小講堂などがあり、快適な学園生活が送れるようになっています。100周年記念体育館は地上部分にグラウンドを持つ半地下設計の施設で、多彩な行事にも活用されています。学食はありませんが、購買部でお弁当の販売を行っています。

校外施設として、長野県小諸市に「獨協学園日新寮」、千葉県館山市に「獨協学園海の家」があります。

生活指導・心の教育

「品格ある人間の育成をめざす」人間教育の伝統の下、生徒に問いかけ考えさせる指導を基本としています。個人に関わる指導は担任を中心に丁寧に対応し、内科・精神科の校医やスクールカウンセラーによるカウンセリングも隔週で行われます。また、ルールやマナーなど全体に関することについては、全校一致で取り組み、自律した人格を育む指導を行っています。

学校行事・クラブ活動

中1、中2の臨海・林間学校は自然に親しみとともに6年間のスタートとなる良い人間関係を築く第一歩とします。臨海学校は館山の海の家で、林間学校は小諸の日新寮で行われます。

中3では、奈良・京都への修学旅行、高校では自然・環境教育を柱とするハワイ修学旅行、また希望者対象の海外研修として、ホームステイ、短期留学、イエローストーンサイエンスツアー、ドイツ研修旅行があり、自主的な力を培うとともに視野を広げ、自立の時期にしっかりと成長を促します。

また、中学では年5回、定期試験終了後に学年毎に、スポーツ大会、ハイキング、街並見学、博物館見学など、その時々に合わせて企画が行われます。

全校行事としては生徒中心に企画・運営される獨協祭をはじめ、高校スポーツ大会、中学体育祭、マラソン大会などがあります。

クラブ活動は、サッカー、野球以外は中高一緒の活動で、先輩の面倒見がよい和気あいあいとした雰囲気の特徴です。全国5位の実績を持つ演劇部や、インターハイ出場のアーチェリー部のほか、ハンドボール部などがあります。

データファイル

2025年度入試日程

募集人員	出願期間	試験日	発表日	手続締切日
1回 約80	1/10~1/31	2/1	2/1	2/5
2回 約20	1/10~1/31	2/1午後	2/1	2/5
3回 約70	1/10~2/1	2/2	2/2	2/5
4回 約30	1/10~2/3	2/4	2/4	2/7

すべての回で帰国生選抜あり

高等学校

募集を行っていません

2025年度選考方法・入試科目

中学校

- 1回・3回・4回：4科
- 2回：国語、算数(各100点40分)
〈配点・時間〉国・算=各100点50分 理・社=各70点40分
〈面接〉なし

2024年春併設大学への進学

獨協大学・姫路獨協大学へは一定の推薦基準(成績・出席状況等)を満たしていれば、推薦試験を受けられます。原則として受験者は入学を許可されます。獨協医科大学へは推薦基準を満たしていれば系列校推薦入試を受験でき、その成績によって入学が許可されます。

獨協大学-6(経済5、外国語1、国際教養0、

説明会・行事等は日程・内容が変更される場合があります。必ず学校HP等でご確認ください

法0)

獨協医科大学-6(医)

姫路獨協大学-1進学者なし

指定校推薦枠のある主な大学

青山学院大 学習院大 北里大(医) 芝浦工業大 上智大 中央大 東京理科大 法政大 明治大 明治学院大 立教大 早稲田大など

2024年春卒業生進路状況

卒業生数	大学	短大	専門学校	海外大	就職	進学準備他
192人	131人	0人	1人	1人	0人	59人

2024年度入試結果

中学校 帰国生を含む

募集人員	志願者数	受験者数	合格者数	競争率
1回 約80	345	308	98	3.1
2回 約20	806	737	261	2.8
3回 約70	575	395	110	3.6
4回 約30	525	343	49	7.0

学校説明会

要予約 10/13 11/10 12/8 1/12

入試問題対策動画配信 11/23~2/4

見学できる行事

獨協祭(文化祭) 9/21・9/22(入試相談コーナーあり)